

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大阪社体スポーツ専門学校
設置者名	学校法人椿本学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
社会体育専門課程	健康スポーツ科	夜・通信	3899	160	
	専攻科	夜・通信	584	80	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ https://www.shatai.ac.jp/disclosure/document/d.pdf 『実務経験のある教員などによる授業科目一覧』は事務局にて閲覧可能 また、請求の場合は郵送で入手可能

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大阪社体スポーツ専門学校
設置者名	学校法人椿本学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ

<https://www.shatai.ac.jp/disclosure/document/o.pdf>

※『理事（役員）名簿』は事務局にて閲覧可能

また、請求の場合は郵送で入手可能

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	2017.7.4～ 2021.7.3	法人運営における 法定安定性
非常勤	公認会計士	2017.7.4～ 2021.7.3	法人運営における 会計的安定性
非常勤	大阪府立大学名誉教授	2017.7.4～ 2021.7.3	教育面における高 度の指導性
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪社体スポーツ専門学校
設置者名	学校法人椿本学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ・講義一般・専門科目、実技科目、実習内容の決定後、教員会議にて、選定を行い、学校評価委員会に諮り決定する。 ・各授業担当講師に、前期(14週)、後期(14週)または通期(28週)のシラバス作成を依頼する。 ・シラバスには、授業目標・概要・授業計画・教科書・成績評価法を記載する。	
授業計画書の公表方法	ホームページ及びシラバス https://www.shatai.ac.jp/disclosure/document/aa.pdf ※『シラバス』『学生便覧』は事務局にて閲覧可能 また、請求の場合は郵送で入手可能
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) ・出席状況、授業態度、課題提出、小テスト、筆記試験にて評価する。 ①1年次においては、必修科目・選択科目を履修し、所定の学業成績及び学外実習認定に基づき、単位を与え課程を修了した者として、2年次の進級が判定される。 ②2年次においては、必修科目・選択科目を履修し、所定の学業成績及び学外実習認定に基づき、単位を与え課程を修了した者として、判定される。 ③卒業必修単位の全てが認定された者は、成績審議会にて、卒業判定を行い卒業が認定される。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 【履修方法】 ●単位の認定は、下記事項に該当する者については校長が行う。 ・全科目に対し、100点満点とする採点法によって定める。単位認定は、原則60点以上とする。 ①成績評価は「A」90点以上、「B」80点以上、「C」70点以上、「D」60点以上、「不可」59点以下 ②授業回数の欠席は、授業回数の5分の1を超えない者。 ③授業科目の成績評価は、学年末において、前期、後期における筆記試験、実習、課題の履修状況等を総合的に勘案して行う。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページ https://www.shatai.ac.jp/disclosure/document/t.pdf ※『シラバス』は事務局にて閲覧可能 また、請求の場合は郵送で入手可能
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 【卒業要件】 ・所定の過程を修了し筆記試験等に合格し、単位認定された者について平素の成績及び性行を斟酌して認める。 【卒業認定基準】 ①必修科目・選択科目を履修し、全科目の単位認定がされた場合は、卒業が認定される。 ②必修科目1科目ないし3科目の単位が認定されていない場合は、教員会議が相当と認める基準に従い特別課題として当該等科目の補習ないしそれに替わる課題が与えられることがある。特別課題科目を履修し、単位を修得した結果、全科目の単位が認定された場合は、卒業が認定される。 ③前号の者で、単位が認定されない場合は、卒業が認定されない。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページ https://www.shatai.ac.jp/disclosure/document/t.pdf ※『卒業認定に関する方針』資料は、事務局にて閲覧可能 また、請求の場合は郵送で入手可能

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大阪社体スポーツ専門学校
設置者名	学校法人椿本学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ https://www.shatai.ac.jp/disclosure/document/n.pdf ※事務局にて閲覧可能また、請求の場合は郵送で入手可能
収支計算書又は損益計算書	ホームページ https://www.shatai.ac.jp/disclosure/document/ab.pdf ※事務局にて閲覧可能また、請求の場合は郵送で入手可能
財産目録	ホームページ https://www.shatai.ac.jp/disclosure/document/ad.pdf ※事務局にて閲覧可能また、請求の場合は郵送で入手可能
事業報告書	ホームページ https://www.shatai.ac.jp/disclosure/document/af.pdf ※事務局にて閲覧可能また、請求の場合は郵送で入手可能
監事による監査報告（書）	ホームページ https://www.shatai.ac.jp/disclosure/document/4.pdf ※事務局にて閲覧可能また、請求の場合は郵送で入手可能

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		社会体育専門	健康スポーツ科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1965 単位時間／単位	1191 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	466 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	308 単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
400 人		178 人	0 人	11 人	36 人	47 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業方法：講義、実技、実習 授業計画：前期 14 週・後期 14 週・通期（28 週）
成績評価の基準・方法
（概要） 出席点（出席状況、授業態度、課題提出、小テスト）+本試験＝60 点以上 ※出席点+本試験＝60 点未満不合格 ※1 科目欠席数 4 回以上は評価資格なし
卒業・進級の認定基準
（概要） 【進級認定基準】 ①必修科目・選択科目を履修し、全科目の単位認定がされた場合は、正規進級とする。 ②単位が認定されていない科目がある場合は、仮進級とする但し、1 年次において単位未修得の必修科目は、2 年次に再履修し、所定の単位を修得しなければならない。 ③授業回数の欠席は、授業回数の 5 分の 1 を超えない者。長期欠席等の場合は、留年とし、再び 1 年次の全科目の単位を習得しなければならない。 【卒業認定基準】 ①必修科目・選択科目を履修し、全科目の単位認定がされた場合は、卒業が認定される。 ②必修科目 1 科目ないし 3 科目の単位が認定されていない場合は、教員会議が相当と認める基準に従い特別課題として当該等科目の補習ないしそれに替わる課題が与えられることがある。特別課題科目を履修し、単位を修得した結果、全科目の単位が認定された場合は、卒業が認定される。 ③前号の者で、単位が認定されない場合は、卒業が認定されない。
学修支援等
（概要） 1. 入学前の事前学習導入 2. 授業での確認テスト、レポート提出 3. 授業での補講・補習

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
73 人 (100%)	19 人 (26%)	44 人 (60%)	10 人 (14%)
（主な就職、業界等） フィットネスクラブ・健康増進施設・スイミングクラブ・幼稚園・幼児体育指導員・ スポーツ用品関係・介護系			
（就職指導内容） 就職担当者が担任と連携して就職指導を行っている。履歴書記入・模擬面接の指導。 校内企業セミナーの開催。全員の進路が確定するまで指導を行い、また卒業後の サポートを行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 公財）日本スポーツ協会公認ライセンス、（公財）健康・体力づくり事業財団など 各種資格取得			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
178 人	20 人	11%
（中途退学の主な理由） 経済的問題・進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任より個別指導・カウンセリング、保護者との連携を取っている。		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養		社会体育専門	専攻科		—		—	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
1 年	昼	836 単位時間／単位	420 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	360 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	56 単位時間 ／単位	
			単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30 人		15 人	0 人	11 人	36 人	47 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業方法：講義、実技、実習 授業計画：前期 14 週・後期 14 週・通期（28 週）
成績評価の基準・方法
（概要） 出席点（出席状況、授業態度、課題提出、小テスト）+本試験＝60 点以上 ※出席点+本試験＝60 点未満不合格 ※1 科目欠席数 4 回以上は評価資格なし
卒業・進級の認定基準
（概要） 【進級認定基準】 ①必修科目・選択科目を履修し、全科目の単位認定がされた場合は、正規進級とする。 ②授業回数の欠席は、授業回数の 5 分の 1 を超えない者。 長期欠席等の場合は、留年とし、再び 1 年次の全科目の単位を習得しなければならない。 【卒業認定基準】 ①必修科目・選択科目を履修し、全科目の単位認定がされた場合は、卒業が認定される。 ②必修科目 1 科目ないし 3 科目の単位が認定されていない場合は、教員会議が相当と認める基準に従い特別課題として当該等科目の補習ないしそれに替わる課題が与えられることがある。特別課題科目を履修し、単位を修得した結果、全科目の単位が認定された場合は、卒業が認定される。 ③前号の者で、単位が認定されない場合は、卒業が認定されない。
学修支援等
（概要） 1. 入学前の事前学習導入 2. 授業での確認テスト、レポート提出 3. 授業での補講・補習

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15 人 (100%)	5 人 (33%)	10 人 (67%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） フィットネスクラブ・健康増進施設・スイミングクラブ・幼稚園・幼児体育指導員・ スポーツ用品関係・介護系			
（就職指導内容） 就職担当者が担任と連携して就職指導を行っている。履歴書記入・模擬面接の指導。 校内企業セミナーの開催。全員の進路が確定するまで指導を行い、また卒業後の サポートを行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 公財）日本スポーツ協会公認ライセンス、（公財）健康・体力づくり事業財団など 各種資格取得			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任より個別指導・カウンセリング、保護者との連携を取っている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
健康スポーツ科	100,000 円	800,000 円	250,000 円	
専攻科	70,000 円	600,000 円	150,000 円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.shatai.ac.jp/disclosure/document/ac.pdf ※『自己評価 報告書』『学校関係者評価委員会 報告書』は、事務局にて閲覧可能 また、請求の場合は郵送で入手可能		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
専修学校の質の保証・向上に関する調査研究を行ったうえで、年2回（7月・2月）学校関係者評価委員会を開催し、学校評価を実施する。		
【体制】 ・職業に必要な実践かつ専門的な能力を育成するため、特に職業に関連した、企業、関係施設との密接な連携をとる。 ・学校関係者評価委員会において、教学部長より業務について、自己評価に基づいた報告を行う。 ・「自己評価結果」「改善に向けた取り組み」「今後の改善方策」の結果を示し、学校関係者評価委員からの意見をまとめ、今後の教育内容の改善を行う。 ・『学校関係者評価委員会 報告書』の作成。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社 ルネサンス	2019年4月1日～ 2021年3月31日	実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
株式会社 オーギスポーツ	2019年4月1日～ 2021年3月31日	実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
株式会社 ヨーケン社	2019年4月1日～ 2021年3月31日	実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
マックススポーツ株式会社	2019年4月1日～ 2021年3月31日	実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
大阪社体スポーツ専門学校 同窓会副会長	2019年4月1日～ 2021年3月31日	実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.shatai.ac.jp/disclosure/document/x.pdf ※『学校関係者評価委員会 報告書』は、事務局にて閲覧可能 また、請求の場合は郵送で入手可能		
第三者による学校評価（任意記載事項）		
2019年7月22日（月） 学校関係者評価委員会 開催		
2020年7月 学校関係者評価委員会 開催予定		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.shatai.ac.jp/disclosure/document/a.pdf ※『学校情報』は、事務局にて閲覧可能 また、請求の場合は郵送で入手可能
--